



●就任のご挨拶

名古屋市工業研究所

所 長 平野 幸治

（公財）名古屋産業振興公社の賛助員の皆様には、日頃より、当地域の産業振興にご尽力いただきますことに敬意を表します。また、工業研究所をはじめとする名古屋市の諸事業にご理解とご協力を賜っておりますこと、お礼申し上げます。この4月に、工業研究所の所長を拝命いたしました。微力ではございますが、全力をつくして職責を全うしたいと考えておりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご存じの通り、我が国の経済状況はリーマンショック以来、東日本大震災、エネルギー問題などもあり、厳しい状態が続いてきましたが、今年に入ってから若干の持ち直しが見られております。しかし、多くの中小企業は依然として厳しい状況にあり、景気の上昇が体感できるのはもうしばらく先になると思われます。特に、輸送機械や工作機械を中心とした輸出産業が大きな割合を占めている当地域では、新興国の台頭、製造拠点の海外移転等から受ける影響も大きく、特定分野に依存した従来の産業構造からの転換が課題となっております。

工業研究所でも、新技術の開発と基盤技術の高度化を二つの柱として、製造業の皆様の新分野進出を積極的に支援してまいります。具体的には、今後の成長が期待される次世代自動車、航空宇宙、介護福祉機器等の産業分野に関する情報収集と当所独自技術の確立に

努め、地域の中小企業への技術普及を図っていきます。当所は機械金属、材料化学、電子情報といった広い対応分野を有しており、その特長を活かして、金型設計や熱設計等の分野においてCAEを活用した試作支援機能の強化に努めてきました。今後は、製品開発の企画から設計、試作までの一貫支援に向け、結果を求めるだけの試験に留まることなく、技術課題の解決に向けた総合支援の推進を心がけてまいります。

昨年開催されました賛助員世話人会において、「賛助員と工研は切っても切れぬ関係にあり、これまで以上に連携を強化していかないといけない」、とのご意見を頂きました。世代交代をされている賛助員企業も多くなってきており、皆様と当所との接点の維持、拡大の必要性を感じております。そこで、当所研究員が現場を訪問して各企業の実情に合わせて技術的課題の解決を図る「出向きます技術相談」や、経営層の方々を訪問して現状や今後の展望を調査する「出向きます総合相談」等の事業を活用し、賛助員企業の皆様との一層の連携を図っていきたいと考えております。貴社への訪問をお願いした折にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

工業研究所は地域の中小企業に最も近く、頼れる公設試験研究機関として、これからも各種事業に取り組んでまいります。今後とも当所のご利用と、皆様のご助言、ご協力をお願い申し上げます。